

SSTK

第 61 号

社会福祉法人 パーソナル・アシスタンス とも
〒279-0022 千葉県浦安市今川 1-14-52
TEL:047-304-8808 FAX:047-304-8821

パーソナル・アシスタンス とも 通信

いっしょに生きる
楽しく生きる

2022 年度

節目から新たな一歩を踏み出します

2021年度はコロナ禍の中、奇跡的に20周年のイベントをリアルで行うことができました。皆様とお会いできて、とても嬉しかったです。本当に懐かしい方々や、長年身近で支援してくださっている方々など多くの皆様にご来場いただき、20周年の喜びを実感できる有意義な時間を持つことができました。

新型コロナとの付き合いも、とうとう3年目となりました。感染の蔓延により、飲食店営業に様々な制限がかかり始めた時期にスタートした「キッチンカフェほっぷ」や「カフェテラスゆう」は、悪戦苦闘をしながらですが、お蔭様で障がいがある人もない人も一緒に働く場として運営を続けています。

「とも」が行っている生活に根差した福祉サービスはコロナ禍でも止めることができません。利用者さんや職員の感染、濃厚接触者が出たときも、みんなで補完し合いながらサービス提供を続けてきました。職員にとっては感染対策を含め、これまでに経験したことのない様々な状況に、臨機応変に対応しながら支援を継続していくという、大変な2021年度だったと思います。先の見えない状態が続きみんな疲れているはず

なのに、そんな中でも誇りを持って生き生きと支援をしている職員の姿が、私にはとても頼もしく見えました。利用



者さんからのアンケートなどでもコロナ禍での支援に感謝する嬉しい言葉もいただいています。

3月27日には毎年恒例の事業報告会と、新入職員の入職式を行いました。ここでもコロナ対策のため全職員が一堂に会することはできませんでしたが、60名余りの職員と一緒に、新入職員を迎える喜びを分かち合いました。

2022年度が始まり、「とも」は未来に向い節目からの新たな一歩を踏み出します。昨年は「発展的原点回帰」をテーマに掲げ、「とも」の原点を再確認してきましたが、今年度はその原点回帰から見えたこととして、当たり前でシンプルなことですが「理念につながる実践をする組織」をテーマとします。

目的を見失わず、日々の実践の質をあげていくこと。職員ひとり一人の成長、チームの成長、組織としての成長を追求していくこと。また「とも」に生きる社会」を目指していっしょに歩んでくれる仲間を増やしていくことも、大切な目標として取り組んでまいります。

西田 良枝

2022年度各事業所の意気込みアンケート

事業所名

パーソナルケアセンター

Q1. 2022年度の事業所の目指す姿を一言で言い表してください。

いつでも、いつまでも、利用者さんが地域で安心して暮らせる支援を提供する。

Q2. Q1のために行うこと（具体的な内容）を、わかりやすく説明してください。

もっともっと利用者さんからのケア依頼をたくさん受けられるように、採用活動に積極的に取り組み、仲間を増やしていきたいです。見学会や就職フェア等に参加するのはもちろんですが、パーソナルケアセンターの仕事をもっと知ってもらえるよう、SNSでの発信なども考えています。また、コロナ禍の為に約2年間開催できなかったグループ外出ですが、2022年度こそは再開できればと考えています。人数制限などの十分な感染予防対策をとりながら行き先を決め、外出できる工夫をしたいと思います。

Q3. Q2に取り組むにあたっての姿勢や意気込みをお書きください。

残念ながら利用者さんからのケア依頼を全て受け切れていないのが現状で、とても悔しい思いをしています。ひとつでも多くのケアを受けたい！そして、ただ受けるだけではなく、ニーズに応えられる質の高いケアを提供したい！その為に、チーム一丸となって前向きに取り組めます！



事業所名

就労継続支援B型事業所とも

Q1. 2022年度の事業所の目指す姿を一言で言い表してください。

みんなが夢や目標に向かって進めるように応援します！

Q2. Q1のために行うこと（具体的な内容）を、わかりやすく説明してください。

日頃の支援の中で、利用者さんが夢や目標を見つけるところからサポートし、目標に向かって進んでいく利用者さんを応援するため、可能性を見つけ出し、挑戦出来る環境づくりをし、一人ひとりの希望や特性に合った作業を提供していきます。



Q3. Q2に取り組むにあたっての姿勢や意気込みをお書きください。

夢や目標があれば前に進んでいける。ひとりひとりが夢や目標を見つけ、進んでいけるように利用者さんを精一杯応援します！！

2022年度各事業所の意気込みアンケート

事業所名 障害児通所支援事業所ふあり

Q1. 2022年度の事業所の目指す姿を一言で言い表してください。

成長をみんなで感じよう!

Q2. Q1のために行うこと(具体的な内容)を、わかりやすく説明してください。

今年度は、その日に行ったことを保護者の方へすぐにはお伝え出来ないこともあったのですが、来年度はその日に頑張ったことなどをなるべくタイムリーに伝えられるようにします。内容も、「この前は出来なかったけど今日はこんなふうに工夫したらできました!」など、以前と比較してどうだったのか、生活の中でどう生かしていくのかなど具体的に保護者の方と情報を共有し、アドバイスさせていただき、お子さんの成長や、保護者の方の悩みや喜びを分かち合えればと思っています。



Q3. Q2に取り組むにあたっての姿勢や意気込みをお書きください。

お子さんの成長をすぐそばで感じる仕事ができることに感謝をしながら、ひとりひとりが自分の成長を誇りに思えるような療育をしていきたいと思えます。

事業所名 障害児通所支援事業所マリーナ 日中一時支援事業所マリーナテラス

Q1. 2022年度の事業所の目指す姿を一言で言い表してください。

「魅力的なマリーナ・マリーナテラス!!新たな挑戦へ」

Q2. Q1のために行うこと(具体的な内容)を、わかりやすく説明してください。

2022年度は、さまざまな経験ができる場として、外に出る機会、新しいことに挑戦する機会をたくさん作っていきます。室内だけのプログラムにとどまらず、公園での活動や、公民館、買い物プログラムなど地域での活動をたくさん取り入れ、子どもたちや利用者さんのやってみよう!!という気持ちを大切にしながら、新たな活動をしていけたらと思います。コロナ禍に負けず、どうやったらできるか考えながら、さまざまなことに挑戦し、共に成長できる楽しくて魅力的なマリーナ・マリーナテラスを目指します!!

Q3. Q2に取り組むにあたっての姿勢や意気込みをお書きください。

「できた」「できない」という結果だけに目を向けるのではなく、やってみようという挑戦する気持ちやそれまでの過程を大切に、お互いを認め合える、思いやりのある温かいマリーナ・マリーナテラスにしていきたいです。安心、安全な場所で、子どもたちや利用者さんがいろいろなことに挑戦し、成長できる場となるよう、質の高い支援を提供できるようがんばります。



2022年度各事業所の意気込みアンケート

事業所名

日中一時支援事業所とも

Q1. 2022年度の事業所の目指す姿を一言で言い表してください。

くつろぎの空間も楽しむ時間も、ともに創る場所。

Q2. Q1のために行うこと(具体的な内容)を、わかりやすく説明してください。

利用者さん個々のニーズに応じた環境をつくり、プログラムの充実を図ります。利用者さんが不安なときは、親身になって寄り添い耳を傾けます。衛生的で安心して過ごせる場所づくりをします。利用者さんの達成感や充実感を感じるプログラムを利用者さんと一緒に企画、運営していきます。



Q3. Q2に取り組むにあたっての姿勢や意気込みをお書きください。

利用者さん一人ひとり、気持ちの表現方法もニーズも違う。その一人ひとりの心が求める真のニーズを敏感に受け止めて対応していけるよう日々努力していきます。

事業所名

訪問看護ステーションとも

Q1. 2022年度の事業所の目指す姿を一言で言い表してください。

利用者さん主体の訪問看護を!

Q2. Q1のために行うこと(具体的な内容)を、わかりやすく説明してください。

医療ケアを受けながら地域で暮らしたい方、病気や怪我を予防しながら健康に地域で暮らしたい方へ、必要な看護を届けます。地域の力をたくさん使い、一緒に楽しい暮らしを続ける支援をします。病気や障がいをもつ方、医療ケアを受けながら住み慣れた地域で暮らしつづけていきたい方、病気や怪我を予防しながら、健康に地域で暮らしたい方をサポートさせていただきます。利用者さんの「こうしたい」という思いを訪問時に伺い、利用者さん・ご家族とともに考えながら支援を計画し、サポートの内容をご納得頂いた上で提供を行います。



Q3. Q2に取り組むにあたっての姿勢や意気込みをお書きください。

訪問看護のスタッフは、みんな利用者さんやご家族と不安を分かち合い、喜びが変わるときを楽しみにしています。知恵を出し合い、一緒に地域での望む生活を実現していけるよう、精一杯力を尽くしたいと思います。

2022年度各事業所の意気込みアンケート

事業所名

相談支援事業所ふあり

Q1. 2022年度の事業所の目指す姿を一言で言い表してください。

一人ひとりに合わせたオーダーメイドの計画を!

Q2. Q1のために行うこと(具体的な内容)を、わかりやすく説明してください。

既存のサービスや生活パターンに利用者さんを当てはめるのではなく、利用者さんの思いやニーズを把握し、どんな生活を希望しているのか、その為に必要なサービスはどんなものかを明確にして、関係者で協力しながら支援の形を組み立てながら、サービス等利用計画を作成します。

Q3. Q2に取り組むにあたっての姿勢や意気込みをお書きください。

ご自身にジャストフィットした支援が提供されることによって、利用者さんの希望する生活に近づくことができ、さらに生きるパワーがわいてくるはず。そんな姿が見られると信じてがんばります!



事業所名

浦安市基幹相談支援センター

Q1. 2022年度の事業所の目指す姿を一言で言い表してください。

地域関係者と一緒にまちづくりを推進!

Q2. Q1のために行うこと(具体的な内容)を、わかりやすく説明してください。

基幹相談支援センターには、個別の相談対応、地域の相談支援専門員さん等に向けた事例検討会や研修の開催、地域づくりの3つの役割があります。

制度の狭間にいる方や、困難な生活状況にある方を中心に個別の相談対応を行います。地域の相談支援専門員が支援に困ったと相談を受けた際には、一緒に解決策を考え、協力して支援する取り組みを強化します。

一人の支援から地域の普遍的な課題を考え、サービス提供体制の強化や計画相談の質の向上に行政、サービス提供者、相談支援事業所等の地域関係者と一緒に実践していきます。

Q3. Q2に取り組むにあたっての姿勢や意気込みをお書きください。

みんなの基幹として、地域の皆さんと協力しながら、「ともに生きる」地域づくりを職員一丸となって頑張ります!



2022年度各事業所の意気込みアンケート

事業所名 浦安市障がい者等一時ケアセンター

Q1. 2022年度の事業所の目指す姿を一言で言い表してください。

安全に穏やかに過ごせる場所、第2の我が家。

Q2. Q1のために行うこと（具体的な内容）を、わかりやすく説明してください。

職員間のコミュニケーションを密にとり、利用者さんが安全に過ごせる環境を作り、利用者さんの「楽しい」に寄り添った支援を行っていきます。

また、職員は、法人内の研修や外部の研修にも参加の機会を多く作り、支援力の向上を目指していきます。



Q3. Q2に取り組むにあたっての姿勢や意気込みをお書きください。

24時間365日、障がいを持った方やそのご家族が安心して浦安で暮らしていくために、「いざと言うときには、本人が大好きな一時ケアがある」という、利用者さんにとっても、ご家族にとっても、頼りになる存在であり続けたいと思います。

事業所名 浦安市身体障がい者福祉センター

Q1. 2022年度の事業所の目指す姿を一言で言い表してください。

利用者さんのやりたい!を応援する身障センター。

Q2. Q1のために行うこと（具体的な内容）を、わかりやすく説明してください。

利用者さんの健康状態を看護職・リハ職・支援職で協働し、長期的な視点で支援します。利用者間の交流を基盤に市民との接点を意識したプログラムを企画運営していきます。利用者さんの意思決定を尊重し誠実な支援を行うためコンプライアンスルールを遵守します。

Q3. Q2に取り組むにあたっての姿勢や意気込みをお書きください。

一人ひとりとの関わりを大切にする事で、利用者さんの意思を尊重した支援をして参ります。それぞれの利用者さんが想い願う支援を実現するため、職員間のコミュニケーションも大切にして、チームワークで取り組みます。





みらくルTVにとももの職員、 西田江里が出演しました!!



みらくルTVに参加させていただきとても楽しかったです。私の生活の事、ママの事、仕事の事、本の事、ヘルパーの事をたくさん話すことができ嬉しかったです。お話をした中で私が強く感じた事は自分のことを知ってもらう事は私の使命ということです。話しているうちになんでこんなに伝えたいんだろうとって考えてみたところ、私は今の生活を続けたいと思うくらい、この自立した生活が好きなのに障がいがあっても地域で一人暮らしができることを知らない人がいる、選べない人がいる、なので私が伝えることで、生活を選ぶときの選択肢の1つにしてほしいと思っています。浅野先生と話して私の目標がハッキリしました。これからもたくさんの人に伝えて知ってもらって、興味を持ってもらえるように頑張ります。

西田江里

2022年2月19日(土) 19:30-21:30放送
「今、障害福祉を考える」 司会：浅野史郎
ゲスト：西田江里
視聴URLはこちら
<https://youtu.be/FsdVzXiJEmg>

今回のみらくルTVは、江里さんが出版した本の内容にちなんだ話でした。私は入社してまだ1年も経っていないので、江里さんの幼少期から今の1人暮らしへの経過などを聞くことができ、とても勉強になりました。みらくルTV出演中、江里さんはずっと笑顔で浅野先生のお話を聞いていたのがとても印象的でした。とても貴重な経験をさせていただき、浅野先生、えりさんには感謝しています。ありがとうございました。

ヘルパー YM



※みらくルTVは、出演者もスタッフもすべてがボランティアで運営されている、ウェブサイト、Zoom、YouTubeを連動した、視聴者参加型の完全双方向オンラインテレビ局です。



ともものホームページを リニューアルしました!



「とも」のロゴは、一人ひとりの笑顔で、みんなが笑顔になれる場所を目指してつとめていくことを表しています。このロゴが大切にされています。

お知らせ



とも法人サイト (<http://www.patomo.jp/>)

とも採用サイト (<https://www.patomo.jp/recruit/>)

「とも法人サイト」と「とも採用サイト」のどちらもリニューアルしています。特に「とも法人サイト」トップページのお知らせ欄が楽しく見やすくなりました。どうぞご覧ください。

社会福祉法人パーソナル・アシスタンスとも
設立 20 周年に際し、多くの皆様より御芳志を
頂戴いたしました。
改めましてお心遣いに心より感謝申
上げます。



社会福祉法人 パーソナル・アシスタンス とも
ご寄付のお願い

社会福祉法人となっても、その財源は今までと何も変わらない現実です。皆様からの寄付は現在行っている社会福祉事業に役立たせていただきます。皆様のご協力をお願いいたします。なお、「とも」への寄付は、以下の税制上の優遇措置があります。

- ◆個人の方は、所得税に係る「寄付金控除の対象」になっています。
- ◆法人の場合は、一般の寄付金とは別枠で損金の額に算入することができます。
- ◆相続や遺贈によって受けた財産を寄付した場合は、その分は相続税の対象外となります。

寄付金 振込先 京葉銀行 新浦安支店 普通口座 5429331
口座名義：社会福祉法人 パーソナル・アシスタンス とも
理事長 西田良枝

ご利用案内

【個別のケアサービス】

- ◆パーソナルケアセンター
障害福祉サービス (居宅介護・重度訪問介護・行動支援)
介護保険サービス (訪問介護・介護予防訪問介護)
移動支援事業・浦安市通院ヘルプサービス事業
パーソナルケアサービス (制度外の支援)
介護保険外生活支援サービス
- ◆パーソナル・アシスタンスとも居宅介護支援事業所【休止中】

【緊急時の宿泊も可能な支援】

- ◆浦安市障がい者等一時ケアセンター事業 (指定管理者)

【子どもの発達支援】

- ◆障害児通所支援事業所ふあり (児童発達支援/放課後等デイサービス)
- ◆障害児通所支援事業所 マリーナ (児童発達支援/放課後等デイサービス)

【日中一時支援事業】

- ◆マリーナテラス ◆日中一時支援事業所 とも

【様々な療育事業】

- ◆イルカスイミングクラブ ◆ダンスクラブ ◆療育・手づくりパン教室
◆造形教室 ◆音楽療法 ◆ムーブメント療育 ◆卓球教室

●連絡先のご案内 事業名 電話番号 メールアドレス

●パーソナル・アシスタンス とも	047-304-8808	tomo@patomo.jp
●パーソナル・アシスタンス とも (予約専門)	047-304-8811	
●障害児通所支援事業所ふあり	047-304-8860	tomo-huali1@patomo.jp
●障害児通所支援事業所マリーナ	047-304-8815	
●相談支援事業所 ふあり	047-304-8860	tomo-huali2@patomo.jp
●日中一時支援事業所 マリーナテラス	047-304-8815	
●日中一時支援事業所 とも	047-304-8810	
●キッチンカフェほっぷ	047-304-8820	
●浦安市基幹相談支援センター (相談窓口)	047-304-8822	tomo-soudan3@patomo.jp
●浦安市障がい者等一時ケアセンター	047-350-8771	
●浦安市身体障がい者福祉センター	047-355-2734	
●訪問看護ステーションとも	03-5659-2100	
●パーソナル・アシスタンスとも 福祉用具貸与販売事業所	070-5561-8808	

【日中活動・就労・機能訓練・余暇等の支援】

- ◆浦安市斎場内売店運営
- ◆就労継続支援 B 型事業所とも
キッチンカフェほっぷ運営
カフェテラスゆう (浦安市老人福祉センター内カフェ) 運営
- ◆浦安市身体障がい者福祉センター事業 (指定管理者)

【訪問看護事業】

- ◆訪問看護ステーションとも

【生活支援のための相談】

- ◆「浦安市基幹相談支援センター」(浦安市より受託)・指定一般相談支援事業 (千葉県指定)・指定特定相談支援事業 (浦安市指定)・指定障害児相談支援事業 (浦安市指定)
- ◆「相談支援事業所ふあり」指定特定相談支援事業 (浦安市指定)・指定障害児相談支援事業 (浦安市指定)

【福祉機器等の貸与・販売】

- ◆福祉用具のレンタルや販売、日用品、補装具など【休止中】

ボランティア
随時募集
◆療育に関わるボランティア イルカスイミングクラブ、生活塾、療育・手づくりパン教室、造形教室、音楽療法、ムーブメント療育、卓球教室のサポート
◆フリマ、イベント、ケアルームのおもちゃ消毒などのお手伝い
◆PR 活動：レイアウトやデザインが得意な人

FAX 番号 047-304-8821

ホームページ www.patomo.jp

編集人：社会福祉法人 パーソナル・アシスタンス とも
〒279-0022 千葉県浦安市今川1-14-52
<編集後記>

コロナも収まらない中、不穏な世界情勢や地震の発生など、天災、人災に関わらず不安と緊張を強いられる日々の中でも人の生活は続いています。どんな人もいつでも支えたいと願うともへの支援の本質を今こそ強く考えながら新年度を迎えています。【5】